

がんばろう山梨!!

河西敏郎

Kasai

県政報告

Vol.5

チャレンジ
挑戦



監査委員として県新消防学校建設予定地を視察

幸せ色の山梨県・中央市に

市民の皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。日頃より私の政治活動に深いご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

県議2期目に入り、3年が過ぎました。平成23年度は総務委員長、そして自民党・県民クラブの一員として県民福祉や県政発展のために活動してまいりました。また平成24年度から25年度にかけては山梨県監査委員として県の財政状況をチェックし、ムダな事業を省く効率化の推進、さらなる県民福祉の向上など、県民の目線で健全化に向けた監査を実施してまいりました。

富士山が世界文化遺産に登録されたことや、リニア中央新幹線計画でルートと新駅の位置が明らかになったことで、日本だけではなく世界各国から観光客や視察団などの来県が予想されています。リニア計画の東京一名古屋間の開通は13年後。子供や孫たちに「お父さん、おじいちゃんたちは素晴らしいものを残してくれた」と言われるように、リニア関連をはじめ様々な地域の活性化構想を皆様のお知恵をお借りしながら作り上げていきたいと思っております。

今後により一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。



本会議



予算委員会

さらなる活性化構想を創出

土木森林環境委員会



総務委員会



苗木植樹

平成25年5月15日 笛吹市御坂町内で、ヒノキの苗木約300本を森林環境部の職員らとともに植樹しました。

富士山清掃活動

平成25年7月27日 県議会環境部会のメンバーと、世界文化遺産に登録された富士山へ出かけ、清掃活動を行いました。



監査委員として東奔西走

平成24年度

平成24年3月26日に山梨県監査委員に選任され、県の財務に関する事務が効率的かつ適正に執行されているかについて監査や検査を行いました。

平成24年度には、本庁では各部局や警察本部など66の所属、また出先機関では中北建設事務所や中央児童相談所など21所属の定例監査をはじめ、例月現金出納検査、一般会計等の決算審査などを実施しました。

●**企画県民部**の検査では、土地開発公社の市川三郷町の分譲地から大量の石やガレキが出てきた問題について、公社ばかりではなく県の責任も含め原因究明の調査を行い、県民にわかりやすい内容で公表するよう指摘しました。

●**森林環境部**の監査では、森林環境税を活用した事業は、庁内関係課と連携を深め効率的な執行に務めること、また林業公社改革については、今後の県の負担が増えないよう迅速に対応する必要性を強調しました。

看護学生の県内就職率向上を

●**福祉保健部**の監査では、新卒看護学生の県内就業者を増加させるための看護師修学資金貸与事業を取り上げました。県立大学の看護学生の県内就職率は大学の中期計画目標の50%に達していないのが現状。このため、大学の予算を所管している総務部と連携して事業の成果が挙がるような新たな取り組みを行うよう意見を述べました。

●**県土整備部**の監査では、県営住宅の入居待機者が400世帯を数えている一方で、入居基準の収入を超過している世帯が482戸あることを指摘。公平性の観点から高額所得者の退去を進め待機者の解消に向け適切に対応するよう主張しました。

●**警察本部**の監査では、警察官の不祥事が県民の警察に対する信頼感を損なうことになるため、職員の職務倫理の確立や幹部による業務管理の徹底などを図り、非違事案の再発防止に努め県民の信頼を回復するよう指摘しました。

浅原橋の切り替えをスムーズに

●**県土整備部の出先機関**の監査では、浅原橋架け替え工事について、事業の進捗状況を確認。新橋への切り替えにあたっては、近隣住民や通行者への影響を十分考慮しスムーズな切り替えが行われるよう意見を述べました。

●**企画県民部の出先機関**の監査では、中北地域防災アクションプランの見直しについて取り上げました。各地域で行われている防災訓練は、東日本大震災前と変わらないものが多いので、管内市町や関係機関が集まる会議などで、震災の教訓を踏まえた今後の訓練のあり方について伝える必要があると指摘しました。



中部横断自動車道身延山IC建設予定地を視察



健全化に向け 県財政をチェック



大阪事務所の監査 青果市場を視察

事業の効率化の推進



山梨県立大学の監査

県民の福祉向上へ



早川水系発電管理事務所の監査

平成25年度

監査委員2年目となる平成25年度においても、本庁各課や出先機関に対する定例監査や一般会計等の決算審査のほか、例月現金出納検査や県出資法人等を対象とする財政的援助団体等監査などを実施しました。

●**総務部の出先機関**である消防学校の監査では、平成27年4月開校を目標とする消防学校の整備について取り上げました。工事の進捗状況や工事期間中における教育訓練への影響、工事車両通行に関する地元との調整をはじめ、東日本大震災の教訓や新学校開校を踏まえた教育訓練の見直し状況などについて確認しました。また新学校の開校を契機として、より一層、県民に信頼される学校となるよう、自身の消防団員としての経験を活かした意見を述べました。(表面参照)

災害時の医療・衛生面の連携を

●**福祉保健部の出先機関**である中北保健福祉事務所の監査では、児童虐待防止に向けた関係機関との連携や、母子寡婦世帯を対象とする相談事業、食品の衛生指導監視などの実施状況を確認。地震等大規模災害発生時における医療・衛生面の対応については、市町村との連携を十分図るよう指摘しました。

身延山インターを視察

●**県土整備部の出先機関**である中部横断自動車道推進事務所の監査では、用地取得の進捗状況や今後の見通し、買収困難事案への対応などについて確認し、地域活性化インターチェンジとして工事を進めている「身延山インターチェンジ(仮称)」の現場を視察しました。

●**山梨県立大学**の監査(財政的援助団体等の監査)では、公立大学法人に移行後、3年が経過する中で、大学側が策定した中期計画の達成状況や、地域が抱える課題を解決することができる学生の育成事業について問い質しました。そうした学生の育成を目的とする「地(知)の拠点整備事業」(COC)の取り組み状況を確認するとともに、看護学部卒業生の県内就職率を促進させるためには「県内医療機関の環境整備や魅力を高めるなど総合的な対策が重要である」と意見を述べました。

●**企業局の電気事業**の監査では、発電の現場である早川水系発電管理事務所水力発電設備の維持管理の状況を調査。施設の効率的な運用を図り、県民生活に必要な電力の安定供給に努めるよう指摘しました。